

ちた未来塾 第2回 平成28年8月26日 18時～20時 会場：知多青少年会館

#### 前回のふりかえり

「ダイアログ4（伝言ゲーム）」で第1回の振り返りを共有。コミュニケーション能力を高めながら相手に伝わる体験をした。

#### ゲストスピーカー 江ノ上敦士さん

##### 「家族のあり方と将来を考える」

###### (1) 自己紹介

半田市生まれ、美浜在住。中高生時代はやんちゃでいろいろなことをやってきた。大学時代は目的もなく「自分は何者なのだろう」と思うようになり勉強をせず、サーフィンとバイトに明け暮れた。

就活では50社くらい会社説明会に参加して、ふと、社会（普通の将来）って何だろう？と、社会科の先生だった親に答えを求めたが返ってこなかった。当時はベンチャー企業が流行り始めた頃で、自分を成長させる仕事に就こうとキャリアコンサルタント（キャリコン）資格を取得した。

###### (2) キャリコンになった理由

大学卒業後は白蟻駆除の会社に就職、営業でトップに立つ。ある日、他者との比較で得た「得意」は優越感でしかなく、好きなことではない。自分の個性を生かしてわくわくする「好きなこと」を目指そうと考えた。

大阪の人材育成コンサルタント会社へ転職したのに担当は営業。通勤の満員電車で遭遇する人は生き生きした人が少なく愚痴っぽい人が多い。その頃付き合っていた彼女がうつになってしまう等、日常の暮らしの中から違和感を覚えて退社した。

この頃「現実の違和感を覚えたら、個性への発路」と言った社長の言葉を覚えている。また、同じキャリコン資格を持つ大久保さんとの出会いをきっかけに半田市へ戻り、彼と一緒に「NPO 法人エンド・ゴール」を設立した。

エンド・ゴールでの5年間は、就職支援としてパーソナリティ形成のお手伝いをしたが、就職する学生の意向とは異なりクライアントである大学が求める成果や親の意向に縛られた就職指導に違和感を覚えて退社した。

###### (3) 私の働き方の価値観

生きている実感を求めて家族4人、田舎（美浜）へ引っ越した。子どもが授かり、農薬等の心配がない、よい環境の元で育てたいと思った。元々奥さんは幼稚園教諭で、サドベリースクール（※）に関心がある人。

(※) サドベリースクール

中心的な特徴は、生徒はルールの範囲内で自由に行動できること、またそのルールを学校参加者自身（主に生徒とスタッフ）により決定していくことである。それによりサドベリー・スクールでは、生徒は学ぶべき内容を学校から押し付けられるということがなく、自らの好奇心のおもむく事をルールの範囲内で追求することができる。

たった一度の人生だから、やりたいことをやる！正社員じゃなく他の収入源を持つパラレルキャリアでもいい。逆に、社内キャリアは社会で通用するのか？今の半農半Xの暮らしは、人や自然に貢献することが僕の生き方だと信じて実践している。

#### (4) 幸せな生き方

例えば、お金があれば幸せな人等、人それぞれの価値観が存在する。だが、世の中は操作された情報が多く、農作物も大量に規格統一されていることが当たり前とされている。そして、テレビやスマートフォンを持たなくなって見えてきた本当の友達。

「自分にとって豊かな暮らしとは何か？」「はたらく」ことで、傍に人を楽しめる。家族との時間を大切に。生きている実感があること。自分が支援してきた人たちと一緒に農業したい。消費や欲望を抑えることで、収入減でも豊かな暮らしは手に入る。最近のご近所で困っている高齢者のお手伝いをきっかけに地域から受け入れられるようになり、田舎暮らしのコミュニティが出来つつある。

#### (5) Q&A

**Q：自分（塾生）とは違う**

A：普通とは違う生き方をしていると思う。スマートフォンもテレビも持っていない。でも、そうすることで人の評価に左右されることなく、自分の意思を尊重することが出来る。

**Q：家族と考え方の相違が生じたらどうするか？**

A：違いが生じることによって、我慢している人が存在することになる。それは自分であるのか、それとも相手であるのか。どちらがどれほど我慢しているかは計ることはできない。しかし、基本的に女性の方が我慢していると思う。子供に対しての我慢は苦にならない。

**Q：もっとこうしておけば良かったと思うことは？**

A：自分をもっと認めること。後悔しても仕方がないので、次へと繋げる糧とする。

**Q：子供が将来の選択肢を広げるために大企業や安定した仕事を選ぶことについて**

A：第一に考えなくてはいけないことが、子供の個性を活かすことである。お金が必要となったら、その時に考えて頑張ればよい。出来ない理由探しをする必要はな

い。

Q：自信はどこで付けた？

A：できないことの理由を考えたくない性格。

Q：上手くいかないときはどうする？

A：うまくいかない方法だったとわかったから、うまくいく方法を見つけたと思うようにしている。成果の犠牲にはなりたくない。

Q：根本的な解決とは？

A：クライアントの意志ではない。自分らしさの生き方を選択。

### ふりかえりとまとめ

「生き方を知ることは悪いことではない」

①スタンダードな生き方

②人の影響を受けるタイミングにはターニングポイントとして、他方で関わりがあり、それが決められていて、力になっていく。志ややりたいコトが表に出ていると一緒にやりたくなる。関わりが作れる。言われたとき（誘われたとき）に「やります」と言えるかどうか。ターニングポイントで人生の選択をする。自分のことが見つめてないと。

③人の話を聞きましょう。伝えることと伝わり方は違う。記録すると広がる。聞いているだけだと忘れるので、記録が次につながる。例えば今日の江ノ上さん話を記録してくださった藤森さんは、対話を促しそれを記録することを仕事とされている。今は記録することが仕事になる。